

NO. 60-5

鋼橋技術研究会  
海外橋梁技術研究部会  
製作技術研究分科会

昭和60年度報告書

昭和61年3月

## 1. 研究活動概要

海外橋梁技術研究部会の活動目的は以下のとおりである。

- 1) 海外橋梁の設計・製作・架設に関する諸技術を調査研究する。
- 2) 海外技術の社会的背景やプロジェクトの進め方について調査研究する。
- 3) 海外技術と国内技術を比較検討し、我国の技術へのフィードバックと海外物件対応への糧とする。

この活動目的の下に製作技術研究分科会では、海外橋梁の製作方法、技術水準、構造ディテールなどの関連資料を収集して、当面、次ページの表のような内容について調査研究資料をまとめることを目標として活動を行っています。

60年度は6回の分科会を開催して、一応、部分的にまとめた成果は表の(完)の項目であり、これらを中間報告資料としてまとめました。引き続き、継続項目、並びに今後の課題について順次、活動していく予定です。

### 中間報告書内容

#### 1. 資料調査

1.1 統計資料	-----	1-1
1) 建設工事の海外受注実績		
2) 建設コンサルタントの海外受注実績		
3) 橋梁の海外受注実績		
1.2 海外への視察調査団とその概要(主として鋼橋)	-----	1-11
4. 輸出橋梁の製作事例研究	-----	4-1
アダミヤ橋(イラク共和国)の製作		